社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和02年01月07日

計画の名称	連続立体交差事業による都市交通の安全と円滑化		
計画の期間	平成２８年度　～　平成２９年度　(2年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	愛知県		
計画の目標	鉄道を連続的に立体交差化することにより、複数の踏切を同時に除却し、交通渋滞や踏切事故の解消による都市交通の安全と円滑化を図るものである。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	7,586	A	7,586	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)		(H29末)
1	事業区間内の踏切遮断交通量（台時+人時/日）を27.3%解消する。			
	踏切遮断交通量（台時+人時/日）の解消率を算出する。 （踏切遮断交通量の解消率）＝Σ(解消された踏切遮断交通量)／Σ(事業区間内の踏切遮断交通量)	0%	%	0%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

案件番号：　0000147194

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	－	－	名古屋鉄道名古屋本線等連続立体交差事業（知立駅付近）（A-1）	鉄道高架化　L=4.86km	知立市	■	■				5,679		－
	A01-002	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	－	－	東海旅客鉄道武豊線連続立体交差事業（半田駅付近）（A-2）	鉄道高架化　L=2.60km	半田市	■	■				194		－
	A01-003	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	－	－	布袋駅線（名古屋鉄道犬山線鉄道高架事業）（A-3）	鉄道高架化　L=1.80km	江南市	■	■				1,713		－
											小計						7,586		
											合計						7,586		

案件番号：　0000147194

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	－	－	交通実態調査（C-1）	事業区間周辺の交通量調査	知立市、半田市、江南市	■					0		－
		鉄道高架事業（A01-001～A01-003）における当計画の効果測定を行うための交通調査（踏切横断交通量、踏切遮断時間、周辺道路の交通量等）を実施する。																	
											小計						0		
											合計						0		

案件番号： 0000147194

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施。なお、計画内の各要素事業（基幹事業）については、愛知県公共事業評価実施要領に基づき評価を実施。	令和２年１月
	公表の方法
	愛知県都市整備局都市基盤部都市整備課のWEBページ掲載

○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	―
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	―

○特記事項（今後の方針等）
事業中である鉄道高架事業について、引き続き地元市や鉄道事業者などの関係者と調整を進め、計画どおりの進捗を目指す。

案件番号： 0000147194

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	踏切遮断交通量の解消		
	最　終 目標値	0%	―
	最　終 実績値	0%	